

5 第31回国民文化祭・あいち2016に出場して

○第31回国民文化祭・あいち2016

「第31回国民文化祭・あいち2016」は、『「愛故知新」～伝統を「愛」(いつく)しみ、新しきを「知」り、文化は動く～』をテーマに、平成28年10月29日から平成28年12月3日まで開催されました。本県から出演していただいた団体に、その感想を寄せていただきました。

呉三曲会 (呉市)

邦楽の祭典 平成28年11月3日(木・祝) 日本特殊陶業市民会館

この度、「第31回国民文化祭あいち・2016」に参加させて頂き有難うございました。

伝統を「愛」しみ、新しきを「知」り、文化は動く、という意味を込め、「愛故知新」をテーマに祭典が開催されました。前夜は全国からの参加者が一堂に会し交流会が開催され、各県の邦楽情報等聞け、参考になりました。

会場の日本特殊陶業市民会館は二つの舞台が背中合わせの円形の回り舞台で、演奏の間に次の配置を済ませ、幕間はアナウンス時間のみと大変能率的な進行であったのが印象に残りました。

当方の演奏曲「吾妻獅子」はこの日数少ない地唄箏曲で、広島県代表として恥じない演奏が出来、充実した一日でした。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



銭太鼓高杉会 (三次市)

太鼓の祭典 平成28年11月20日(日) 名古屋国際会議場センチュリーホール

この度は、広島県代表として『第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」』に推薦していただきありがとうございました。

出演会場は、3,000人収容できる名古屋国際会議場で、ゲスト団体を含む30団体、450人が出演しました。

ゲスト団体の中には、海外やテレビで公演した団体もあり、バチの先から爪先まで、神経の張りつめた動作と気合いの入った大声で、迫力のある演技に圧倒されました。

そうした中で、緊張しながらも初めての和太鼓とのコラボ演奏や、持ち味であるバイの投げ合い、衣装の早変わりなどの演出で客席から盛大な拍手と声援をいただきました。

これからもこの度の体験を生かし、より一層練習に励み、多くの人に喜びと感動を与えられるような演奏を目指して活動して参りたいと思います。



広島文教女子大学附属高等学校和太鼓部「文教太鼓葵」 (広島市)

太鼓の祭典 平成28年11月20日(日) 名古屋国際会議場センチュリーホール

『第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」』に広島県代表として、出演させていただき、感謝申し上げます。

名古屋国際会議場という大きな会場で、各県のレベルの高い演奏を体感することができ、さらに自分たちも演技させていただき、かけがえのない経験をさせていただきました。

各団体の和太鼓にかける情熱を感じることができ、「表現」ということの楽しさや、難しさを改めて確認することができました。今回の出演をきっかけに、心・技・体のさらなる飛躍を目指し、日々の稽古に励もうと思います。

そして、今後、観てくださる皆様により良い演技をお届けできればと思います。本当にありがとうございました。



西城琴音会 (庄原市)

大正琴の祭典 平成28年11月27日(日) 名古屋国際会議場センチュリーホール

大正琴発祥地の名古屋で開催された『第31回国民文化祭・あいち2016「大正琴の祭典」』に、広島県の代表として出演させていただきました。国民文化祭へは二回目の出場で、とても光栄に思います。

代表として恥ずかしくない演奏をしようと、練習にも力が入りました。大正琴協会からは貸し琴の準備をしていただき、遠方でしたが安心して当日が迎えられました。

私達にとって大舞台となりましたが、心地よい緊張の中で楽しく演奏することができました。

また、参加団体の皆様のすばらしい演奏を聞かせていただき、とても感動しました。

今後も、美しい音色が多くの人々の心に届くような演奏を目指し、いっそうの研鑽を積みたいと思います。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

